

学習の手引き

1 学習システムの流れ

【授業回】と【宿題回】セットで1単元となります。原則どちらも一度限りの受講となり、前の単元には戻れない仕様となっておりますので予めご了承ください。過去に受講した単元につきましては、「保護者用システム『マイフォトン』」にて問題画像・解説動画・お子様の答え等すべてご確認いただけますのでご安心ください。

【授業回】

授業回は 前回単元で学習した内容の「確認テスト」から始まり、「説明」・「例」・「問」の順番で学習を進めます。「確認テスト」は、基本的に5問出題されます。基本6割以上(1年生のみ4割以上)の正解で合格となりますが、合格基準は難易度により変動します。不合格の場合は前回単元の宿題回に戻り、復習を行っていただきます。4回不合格が続くと、宿題回には戻らず、次の授業回の「説明」に進みます。

直近20回分の確認テストの平均点に基づき、以下のようにレベル分けを行います。レベルによって出題される問題の難易度や問題数が変わる単元もございますので、真剣に取り組んでいただけますようお願い申し上げます。

70点未満：レベル 1 70点以上 85点未満：レベル 2 85点以上：レベル 3

(不合格になった場合の再受験分も、平均点の算出に含まれます。)

「説明」はその回の導入授業でございます。重要なポイントを説明しますので、しっかりとご視聴ください。「例」は問題の解き方の説明です。生徒の皆様にも、まずはご自身で考えて答えを出していただきます。「問」では「例」で説明した解き方を使って実際にご自身の力で解いていただきます。正解・不正解問わず解説動画が流れますので、しっかりご視聴いただき、正しい解き方を身に付けてください。正解の場合は、動画をスキップすることができます。不正解の場合は、解説動画を視聴後に再度同じ問題を解いていただきます。

【宿題回】

授業回で学習した内容をご自身のものにしていただくために、「演習」が出題されます。学力定着のため、過去に学習した単元の間・演習問題にも取り組んでいただきます。また、「1日1問」として、過去に学習した単元の中から、厳選した問題を出題いたします。正解・不正解問わず解説動画が流れますが、正解の場合は、動画をスキップすることができます。不正解の場合は、解説動画を視聴後に再度同じ問題を解いていただきます。

2 動画の進め方

説明・解説動画の内容が分からない時は「20秒戻るボタン」を使って、何度でも見直すことができます。ただし、次の問題に進むと前の問題には戻れなくなりますのでご注意ください。途中で休憩（ログアウト）した場合は、「説明」と「例」は中断したところから再開されます。「間」「演習」「1日1問」は問題を解答する部分から再開となります。正解していた場合も解き直しとなってしまいますのでご注意ください。

1月27日（月）以降順次、動画視聴 URL と併せてシステム操作方法のマニュアルを送付いたします。動画の中断・再生方法の詳細につきましては、マニュアルをご確認ください。

3 ご用意いただくもの

- ・ iPad（第8世代以上）
- ・ 4色ボールペン（黒・赤・青・緑）
- ・ ノート2冊（5mm方眼罫10mm実線入りをお勧めいたします。）
- ・ 鉛筆、消しゴム

◎「教科書ノート」

授業回の「説明」・「例」をご視聴いただく際は、動画内の電子黒板の内容を写していただきます。動画を止めて、問題文など全て書き写してください。電子黒板では大切なポイントを説明していますので、綺麗にノートに書き写して、後で見直しができるようにしてください。ただし、綺麗に書くことが苦手なお子様もいらっしゃると思いますので、神経質になりすぎずお取り組みください。「説明」と「例」をノートに書き写すことにより、**自分だけの教科書**となり、後々の復習にも使っていただけますし、頭も整理されます。

※1年生コースの方は、授業が始まる3月時点では小学校入学前のため、ひらがなを学習されていない方もいらっしゃるかと思います。そのため、1年生の間はノートに書き写さなくても大丈夫です。これは、決してネガティブな意味ではなく、「保護者用システム『マイフォトン』」にて過去の説明や例をご覧いただけますので、どうぞご安心ください。なお、2年生からは身につけるためにノートに書き写してください。

◎「演習ノート」

授業回の「確認テスト」・「問」を解く際、また宿題回を受講される際に、式や考えを書くノートでございます。**問題文を書き写す必要はございません。**算数の勉強はご自身の手を使って考えることが非常に重要です。こちらのノートはそのためにお使いください。答えはiPad上の解答欄に指で書いていただきます。

ただ動画を見るだけでは、受け身の学習になってしまいます。面倒に感じることもあるかもしれませんが、ノートに書き写したり、式や考えを自分の手で書いたりすることで、主体的な学習に繋がり、学習効果が高くなります。

4 保護者様による学習管理

低学年のうち、なかなかお子様おひとりで全てを行うことは難しいかと存じます。学習の内容までは結構ですが、学習・副教材の進捗管理やノートのチェックなどは、保護者様が行ってくださいますようお願いいたします。全て良い結果を出すためですので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

また、その際には、お子様の学習状況や過去の問題・動画等をご確認いただける「保護者用システム『マイフォトン』」をぜひご活用ください。『マイフォトン』のご登録方法等については、別途メールにてご連絡いたします。

5 復習主義

学習は1度やるだけで終わりではなく、定着させるためには、適度な間隔を空けて繰り返し復習することが大切です。本システムは、フォトン算数クラブ（対面教室）と同じ学習効果が出るように設計されており、復習も同様の手順で進められるよう工夫しています。具体的には、その回の内容の演習問題が1回目の復習として宿題回にて出題さ

れます。その後は、3 単元・10 単元・40 単元後の宿題回にて復習として出題されます。(※1 年生の間のみ、1 単元・3 単元・15 単元後の宿題回にて出題されます。)これに加え、1 日 1 問という過去の単元の復習問題も出題されるので、授業回で行った学習も含めて 5 回以上同じ単元の問題を解くことになります。その後、さらに 2, 3 年生は既習範囲の副教材をご自身で解いていただくので、確実に実力が付きます。4 年生以降は、大手塾のテキストが副教材の役割を果たすことになります。

6 算数 1 位を目指しましょう

皆様に算数 1 位を獲る喜びを味わっていただきたく、表彰制度を設けております。大手塾模試で見事に算数 1 位や総合 1 位、2 科目・3 科目 1 位、男女別 1 位等を獲得された場合、表彰させていただきます(算数塾のため他科目だけの 1 位は対象外です)。受験者数が 1000 名以上の大規模な模試と、受験者数が 1000 名未満の小・中規模な模試でそれぞれ副賞をご用意しております。低学年のうち模試を受ける機会が少ないと思いますが、日頃の成果の確認や、実力を把握するためにも、ぜひ積極的に大手塾の公開模試を受験してみてください。なお、表彰対象となりました結果表は、1 位の部分のみをホームページへ掲載させていただきます。お名前などの個人情報は伏せた状態で掲載いたしますので、ご安心ください。

副賞

●1000 名以上の大規模模試

平方数の回数(1 回目、4 回目、9 回目、16 回目…)は高級シャープペンシルセットを進呈いたします。その他の回数は木製のシャープペンシルを進呈いたします。

●1000 名未満の小・中規模模試

3 回目、10 回目、20 回目、30 回目…は高級シャープペンシルセットを進呈いたします。その他の回数は木製のシャープペンシルを進呈いたします。

※算数オリンピックのファイナリストやメダリストにも表彰や副賞がございます。

7 シークバー（動画再生位置変更機能）の設定について

シークバーとは、動画の再生中に画面下に表示され、指で操作して再生位置を自由に変更できる機能です。

当塾では、ただ受講をこなしていくのではなく、毎單元きちんと説明・解説を聞き、理解することが重要であると考えております。そのため、シークバーの初期設定は非表示となっております。

單元によっては、お子様がすでに学習されている内容があるかもしれませんが、説明動画をしっかりと聞いた後、自分の力で問題を解き、プロの講師の解説を聞くことが、お子様の学力向上に繋がります。

◆動画を見直したい場合

「20秒もどる」「はじめから」のボタンがございますので、動画を繰り返し視聴することが可能です。

◆動画の再生速度を変更したい場合

再生速度を変更できるボタンがございます。ボタンを1回押すごとに、1倍→1.25倍→1.5倍の順番で速度を変更することが可能です。

ただし、基本的には1倍速での受講を推奨しております。

どうしても速く進めたい場合のみ、倍速機能をご利用ください。

◆シークバーを表示したい場合

ご事情により、どうしてもシークバーを表示したい場合は、メール又はお電話にて受付までご連絡ください。

8 目に優しい設定と学習環境について

ブルーライトや学習環境によって、お子様の目や肩に負担がかかりやすくなる場合がございますので、是非ご一読いただき、お子様の健康のためにお役立ていただけますと幸いです。

●ブルーライトとは

紫外線の次に強いエネルギーをもつ光の一種です。太陽から放出されるブルーライトには体内時計を整える大切な役割がありますが、タブレットから放出される人工的なブルーライトは長時間浴び続けることで目への負担が大きくなり、ドライアイや目の疲れ、肩こりの症状が現れる可能性がございます。

●ブルーライトをカットするための iPad の設定方法について

①画面の明るさを調整する

画面を暗くすることで、画面から発せられるブルーライト量を軽減させます。

「設定 > 画面表示と明るさ > 明るさ のバーを左へスライド」

②Night Shift 機能を利用する

画面の色をブルーライトが少ない暖色系に自動的に切り替える機能です。

「設定 > 画面表示と明るさ > 【Night Shift】をオンにする」

③Night Shift の色温度を調整する

ブルーライトは寒色系の方が強く、暖色系の方が弱くなるため、「暖かく」の方向へバーをスライドすると、ブルーライトをさらに抑えることが可能です。

●目が疲れない設定について

画面が眩しくて疲れてしまう場合は「ホワイトポイントを下げる」設定がお勧めです。

「設定 > 一般 > アクセシビリティ > ディスプレイ調整 > ホワイトポイントを下げる をオン」

初期設定では 80% に設定されていますが、眩しいと感じる場合は、90%～100% に、反対に暗すぎると感じる場合は 70% や 60% に下げてください。

●学習環境を整える

①姿勢を正して、ディスプレイと目線がなるべく垂直になるように座りましょう。姿勢が悪いと十分な空気を体内に取り入れることが難しくなり、身体の緊張状態が続く事で、疲れが取れにくい・集中力が続かない等の影響が出てしまう可能性がございます。

また、ディスプレイを見上げる態勢で座ると通常よりも顔を大きく開くこととなり、ディスプレイを見つめている間のまばたきが少なくなるためドライアイの要因にもなります。



②室内とディスプレイの明るさは、なるべく差のないように設定をお願いいたします。

9 YouTube等の視聴を制限する設定方法について

iPadにて学習を進めていただきますが、フォトン算数オンラインでの学習時間よりも、YouTube等の視聴時間が長くなってしまつては本末転倒かと存じます。iPadの機能でYouTubeの視聴を制限する方法がございますのでお役立ていただけますと幸いです。

●フォトン算数オンライン 以外へのアクセスを不可にする方法

「設定」→「スクリーンタイム」→「コンテンツとプライバシーの制限」
→【コンテンツとプライバシーの制限】をオン→「コンテンツ制限」
→「Webコンテンツ」→「許可されたWebサイトのみ」→「Webサイトを追加」、
フォトン算数オンラインの授業視聴用URLを登録していただくと、フォトン算数オンライン以外へのアクセスができないように設定することが可能です。

●YouTubeの視聴時間を制限する方法

「設定」→「スクリーンタイム」→「YouTube」をご選択の上、使用可能時間を設定していただくと、設定した時間以上はYouTubeの視聴ができなくなります。
なお、こちらの設定はYouTube以外にも、ゲームアプリ等にもご使用いただけます。